

令和 7 年度

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	令和7年6月23日
課名	上下水道課
グループ名	下水道グループ
記入者名	

1 事業概要

(1)事業名	公共下水道事業 建設改良費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業
(4)第5次総合振興計画での位置づけ	(5)予算・財源等の別				
①基本目標	快適な環境のまちく生活環境の整備	①会計区分	下水道事業		
②大項目	下水道	②財源区分	国補助		
③中項目	公共下水道事業の推進	③予算科目	款	項	目
④施策	公共下水道事業の推進	④予算事業名	公共下水道事業 建設改良費		
⑤施策コード	4・2・1・1	掲載ページ	69	ページ	
(6)実施根拠	(7)総合戦略				
①事務分類(自治・法定受託)	自治事務	①総合戦略 (該当事業名)	無		
②根拠法令・条例等	下水道法	終了	未定	年	月まで
③事業期間	開始	平成5	年	4	月から

2 事業の目的・内容等

(1)目的(何のために行うか)	(2)内容(どのような取り組みか)
生活環境向上及び公共用水域の水質保全のため。	社会資本整備総合交付金により、污水管、公共 樹等を整備し、公共下水道による汚水処理を可能 にする。
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)
公共下水道事業認可区域の未整備地区(大字大塚 の一部 外)について、公共下水道の整備を行う。	水洗化率の向上により、快適な生活環境と河川 水路等の良好な環境を保全する。
対象数	1.88
単位	ha

(5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)

下水道事業は生活環境の向上及び公共用水域の水質保全のための重要なライフラインである。その整備には多額の資金を投下するため、接続率の改善を図り、投資回収に努める。

(6)SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・決算・予算) (単位:千円)

(1)事業(内容) 項 目 名称		公共下水道事業 建設改良費				
決算・予算年度		R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6 年度)決算	今年度(R7年 度)当初予算
(2)事業費内訳	建設改良費	346,241	382,168	263,310	221,454	127,406
	企業債償還費	265,861	278,050	289,038	286,860	284,856
		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
直接事業費合計		612,102	660,218	552,348	508,314	412,262
(3)財源内訳	国庫支出金	105,000	128,000	80,800	71,000	16,100
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	294,300	329,700	248,400	254,700	192,700
	その他特定財源	59,912	53,892	27,949	23,878	9,777
	一般財源	152,890	148,626	195,199	158,736	193,685
合 計		612,102	660,218	552,348	508,314	412,262
(4)補助金名		社会資本整備総合交付金				
(5)人件費						
投入職員数		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
年間人件費		7,628	7,542	7,521	7,772	8,032
(6)総事業費		619,730	667,760	559,869	516,086	420,294
サービス量(m³)		86,200	74,200	80,000	63,000	18,800
サービス単価		7.2	9.0	7.0	8.2	22.4
(単位)		千円/1mあたり				

4 指標の検証				公共下水道事業 建設改良費		
指標名			単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算
(1) 活動指標(実施した事業の量)						
指標名	下水道整備率 (供用開始面積/全体計画面積) (総振目標指標p71) R7年度目標値 96.8%	目標値	%	96.8	96.8	96.8
		実績値	%	96.0	97.7	
		達成率	%	99.2	100.9	
指標名		目標値				
		実績値				
		達成率				
(2) 成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)						
指標名	水洗化率 供用開始区域内 (水洗化人口/区域内人口) (総振目標指標p71) R7年度目標値 81.7%	目標値	%	81.7	81.7	81.7
		実績値	%	81.4	81.9	
		達成率	%	99.6	100.2	
指標名		目標値				
		実績値				
		達成率				
(3) その他指標に現れない成果						
5 事業評価						
(1) 項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている	
					2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である	
					3 その他()	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている	
					2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である	
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している	
2 他に有効な代替手段が見当たらない						
3 その他()						
効率性	コスト効率性 人員の効率性	2	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している	
					2 サービス単価を維持している	
					3 その他()	
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている	
					2 おおむね公平に分配されている	
					3 その他()	
有効性	成果の向上	1	1 成果が上まっている 2 どちらともいえない 3 成果が下まっている	1	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている	
					2 成果指標は、前年度より向上している	
					3 その他()	
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した	
					2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した	
					3 その他()	
(2) 総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)						
<p>公共下水道施設については、国の掲げる令和8年度概成に向けて整備を進めており、令和8年度までに管渠整備がおおむね完了する予定です。</p> <p>また、現在の使用料体系では、使用料収入で汚水処理に係る費用を賄えていないため、水洗化率の向上、経費の削減に努めるとともに、下水道事業審議会の答申を踏まえ、令和8年4月1日から使用料改定を行う予定です。</p>						
6 事業の方向性の判断				1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合		
評価主体	評価	評価についての説明				
(1) 一次評価 (担当課長)	2 現状維持	公共下水道の早期完成を目指し、整備率、水洗化率の向上に努める。				
(2) 二次評価 (政策推進課長)						
(3) 最終評価 (町長)						